

## 血液内科

科長 直江 知樹（教授）

3W・12E

## 最先端の診療技術で高難度な血液疾患に挑む

高度な専門性が要求される血液疾患に対し最善の診療を提供し、かつ新しい診断・治療技術の開発を推進しています。

## 診療体制

常時10～15名のスタッフが、外来診療室4室、入院病床35床（うち無菌病床10床）において高度な専門性に基づいた診療を行い、新しい診断・治療技術の開発とEBMを作りうる質の高い臨床研究を推進しています。



## 対象疾患

白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの悪性腫瘍、再生不良性貧血や骨髄異形成症候群などの貧血症、血友病、von Willebrand病などの出血性疾患の患者の診療にあたっています。

## 得意分野

造血器悪性腫瘍に対する治療の分野では、標準的な化学療法をベースに説明と同意に基づいた最善の治療を提供しています。一方、臨床治験や分子標的療法をはじめとした新規治療法や、新しい造血幹細胞移植法の開発に積極的に取り組んでいます。

## 診療実績

質・安全・満足において最高の医療の提供に努めています。造血器腫瘍の新患は年間50人以上、造血幹細胞移植は20件を数え、400人以上の先天性出血疾患の患者の診療を行っています。

## 専門外来

血友病やvon Willebrand病などの出血性疾患の包括診療を実施する「血友病専門外来」や、造血幹細胞移植ドナーの検診やフォローアップを目的に「移植ドナー外来」をオープンしています。

## 先進医療・研究

当科では造血システムの維持・破綻など基礎的研究から、分子標的治療法の開発、血栓症の制御、移植・再生医療の臨床応用まで幅広く、先進的な診療技術の開発を行っています。



## 循環器内科

科長 室原 豊明（教授）

12W

## 生活習慣病の予防指導から先進医療の血管再生療法まで

虚血性心疾患（狭心症や心筋梗塞）・不整脈・心臓弁膜症・心筋症・肺高血圧や末梢動脈疾患など各種血管病を対象に診療を行います。また、高血圧症や高脂血症などの心臓病の原因となる生活習慣病の診療や禁煙外来など循環器疾患の予防および管理も行っています。

## 診療体制

当科は外来棟2階の11・12・13・17・18診療室（および禁煙外来）で診療を行います。当院では、外来診療は原則予約制となっていますので、かかりつけの医療機関から当院に診療申込書をファックスしてもらうことにより初診予約を取ることができます。

## 対象疾患

虚血性心疾患（狭心症や心筋梗塞）、不整脈、心臓弁膜症、心筋症、肺高血圧や末梢動脈疾患などの各種血管病。高血圧症や高脂血症などの心臓病の原因となる生活習慣病の診療や禁煙外来など循環器疾患の予防および管理。難治性末梢性動脈疾患（閉塞性動脈硬化症やバージャー病）や難治性虚血性心疾患など。

## 得意分野

虚血性心疾患（狭心症や心筋梗塞）に対する冠動脈形成術、不整脈の薬物療法・非薬物療法を行います。心臓弁膜症・心筋症・肺高血圧や末梢動脈疾患などの診断も行っています。また、難治性末梢性動脈疾患（閉塞性動脈硬化症やバージャー病）など、従来の方法では治療困難な患者に福音をもたらす先進医療である血管再生療法も行います。

## 診療実績

年間約800件の心臓カテーテル検査、約200件の冠動脈形成術（カテーテル治療）、約50人の急性心筋梗塞患者の急性期治療、約300件の不整脈のカテーテルアブレーション治療を行っています。

## 専門外来

虚血性心疾患、不整脈、心不全、禁煙などの各種専門医が外来に当たっています。また、ペースメーカーを埋め込んだ患者には、定期的に機械の状況をチェックする「ペースメーカー外来」を行っています。

## 先進医療・研究

再生医療、特に血管再生医療については基礎および臨床研究実績があります。実際に血管再生療法の臨床を行っています。複雑な不整脈に対する高度なカテーテルアブレーション治療も行っています。

